



営農NEWS



抑制トマト栽培での葉かび病、灰色かび、疫病など病害発生にも注意しましょう

抑制トマト栽培では、7月下旬からの天候不順で、降雨日や日照不足が続き、生育や収量の低下を招く圃場環境で経過しました。今後、収穫盛期～栽培後期になってきますが、この時期にやや低温で多湿の環境条件が続くと、突発的に葉かび病やすずかび病、灰色かび病、疫病、斑点細菌病などが発生する場合があります。

近年のトマト栽培では、黄化葉巻病の媒介虫タバココナジラミ類や黄化えそ病の媒介虫アザミウマ類、さらにオオタバコガ、ハモグリバエ類、トマトサビダニ、アブラムシ類など重要な害虫が多いため、害虫防除を重点としますが、これから茎葉の繁茂も旺盛になりますと、高湿度の状態が続いて各種病害の発生しやすい環境にもなります。

気象1ヵ月予報(8月31日発表)によりますと、「天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。降水量は、平年並または多い確率とも40%です」と予想され、各種病害の発生を助長する条件と考えられます。

このため、今後とも施設内をよく観察し、病害の発生を確認したら早期の薬剤防除に努めてください。

＜防除のポイント＞

- 1 管理作業として常に、株間の通風をよくするための整枝剪定、樹勢を維持するための適正な灌水や追肥、換気や除湿など施設内の適正な温湿度管理に努めてください。
- 2 被害茎葉や果実などは施設外に持ち出し、放置せずに、袋内で十分に腐熟させるか土中深く埋めます。
- 3 病害の発生を確認したら、早期の防除に努めてください。薬剤散布は出来るだけ晴天の日に行い、薬液が葉裏や下葉にもよくかかるよう丁寧に行うことが重要です。
- 4 薬剤耐性菌の発生を抑制するため、同一系統薬剤の連続散布は避け、ローテーション散布してください。

表1 トマトまたはミニトマト葉かび病の主な防除薬剤(平成29年9月5日現在)

対象作物 薬剤名	ト マ ト		ミニ ト マ ト	
	希釈倍率	使用時期/使用回数	希釈倍率	使用時期/使用回数
アフェットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで/3回以内	2,000倍	収穫前日まで/3回以内
ベルコートフロアブル	2,000~4,000倍	収穫前日まで/3回以内	4,000倍	収穫前日まで/2回以内
トリフミン水和剤	3,000~5,000倍	収穫前日まで/5回以内	3,000~5,000倍	収穫前日まで/5回以内
ダコニール1000	1,000倍	収穫前日まで/4回以内	1,000倍	収穫前日まで/2回以内
ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000~3,000倍	収穫前日まで/3回以内	2,000~3,000倍	収穫前日まで/3回以内
ゲッター水和剤	1,000~1,500倍	収穫前日まで/5回以内	1,500倍	収穫前日まで/3回以内

表2 トマトまたはミニトマト灰色かび病の主な防除薬剤(平成29年9月5日現在)

対象作物 薬剤名	ト マ ト		ミニ ト マ ト	
	希釈倍率	使用時期/使用回数	希釈倍率	使用時期/使用回数
ゲッター水和剤	1,000~1,500倍	収穫前日まで/5回以内	1,500倍	収穫前日まで/3回以内
ロブラール水和剤	1,000~1,500倍	収穫前日まで/3回以内	1,000~1,500倍	収穫前日まで/3回以内
ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000~3,000倍	収穫前日まで/3回以内	2,000~3,000倍	収穫前日まで/3回以内
フルピカフロアブル	2,000~3,000倍	収穫前日まで/4回以内	2,000~3,000倍	収穫前日まで/4回以内
セイビアフロアブル20	1,000~1,500倍	収穫前日まで/3回以内	1,000~1,500倍	収穫前日まで/3回以内
アフェットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで/3回以内	2,000倍	収穫前日まで/3回以内
ベルコートフロアブル	2,000~4,000倍	収穫前日まで/3回以内	4,000倍	収穫前日まで/2回以内

表3 トマトまたはミニトマト疫病の主な防除薬剤(平成29年9月5日現在)

対象作物 薬剤名	ト マ ト		ミニ ト マ ト	
	希釈倍率	使用時期/使用回数	希釈倍率	使用時期/使用回数
ランマンフロアブル	1,000~2,000倍	収穫前日まで/4回以内	1,000~2,000倍	収穫前日まで/4回以内
プロポーズ顆粒水和剤	1,000~1,500倍	収穫前日まで/3回以内	1,500倍	収穫前日まで/2回以内
ダコニール1000	1,000倍	収穫前日まで/4回以内	1,000倍	収穫前日まで/2回以内
ペンコゼブフロアブル	1,000倍	収穫前日まで/2回以内	1,000倍	収穫前日まで/2回以内

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040